

R4 小・中学校授業力パワーアップ研修【授業構想シート2】

【研修テーマ】 主体的・対話的で深い学びを具現化する授業づくり				
11月4日(金)	吉富中学校	1年 1組	授業者	徳本 みづ穂
教科名	社会科	単元名	人類の出現と文明のおこり	
【授業づくりの3つのステップ】				

① 実態を把握し、身に付けさせたい力を明確にする。
単元をデザインする。



② 本時の主眼を明確にし、評価規準、まとめ、めあてを考える。



③ 本時の導入、展開、終末の手立てを考える。

<ステップ1 単元をデザインしよう!>

① 学級の実態とその要因

- 授業の導入部分では、興味を示す生徒も多いが、集中力が続かない生徒がいる。その理由として、設定するめあてや問い合わせに興味が持てないでいるからだと考える。
- 生徒は小学校で、縄文時代は狩りや採集をしており、弥生時代には朝鮮や中国から稻作の技術が伝わり農耕や牧畜へと変化していき、古墳時代には支配者が現れ、くにができるこども既習している。しかし、世界の文明や農耕技術の発展についてはまだ学習していないので、それについて学習することで、なぜ中国から稻作が伝えられたのかを知ることができ、古代日本の発展について、既習内容を深められると考える。

② 単元を通して身に付けさせたい力（学習指導要領を参照）

・知識・技能

世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。

・社会的な思考・判断・表現

古代文明や宗教がおこった場所や環境などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の古代文明の特色や宗教のおこりについて多面的・多角的に考察し、表現している。

・主体的に学習に取り組む態度

人類が出現し、やがて世界各地で古代文明がおこったことについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

③ ②を支える資質能力を基に、単元をデザインしましょう。

1. 小学校の学習内容を復習し、単元の問い合わせを確認する。

2. 人類はどのような進化をしていったのかを考える。

直立二足歩行によって、火や言葉の使用ができ、狩りや採集から、農耕や牧畜へと生活が変わった。

3. 世界各地の文明の起こりについて考える。

大河のごとりで農耕や牧畜が発達し、権力者（王）を中心とした国家がつくられた。共通点として文字、暦、数学などの使用が挙げられる。

4. 中国文明の起こりと発展について考える。

古代中国でも、大河の流域でおこり、農耕が盛んになり、文字の使用、王中心の国家がつくられた。

また、秦や漢は領土を広げ、中国全体を統一して大帝国を築いた。

5. ギリシャ・ローマ文明の特色について考える。

他の古代文明とは異なり、広大で平らな土地や大河がないため、多くの都市国家が形成され、貿易や植民活動で栄えていった。また、そこでは民主政や共和制がとられて時期もあった。

6. 宗教の起こりについて考える。

人間の力の及ばないものを感じることから宗教が生まれ、神への信仰が生まれた。特に文明が栄えた地域で生まれた宗教は、地域や民族、時代をこえて広まり、多くの人々に信仰されるようになった。

7. 古代日本は、なぜ世界と比べて発達が遅れたのかを考える。

単元を通した問い

1. 古代日本は、なぜ大きな文明が発達しなかったのだろう。

日本は島国であり、他の古代文明が発達した地域と比べて広大で平らな土地や大河がなく、農耕の技術の発達が遅れたから。

2. 日本はどのように発達したのだろう。

中国から農耕の技術が伝えられたことで、狩りや採集の生活から農耕の生活へと変化した。そのことで、貧富の差が生まれ、支配者が現れ、くにができる。また、その後、文字や仏教なども中国より伝えられ、発達していった。

R4 小・中学校授業力パワーアップ研修【授業構想シート3】

【研修テーマ】 主体的・対話的で深い学びを実現化する授業づくり				
11月4日(金)	吉富中学校	1年1組	授業者	徳本みづ穂
教科名	社会科	単元名	人類の出現と文明のおこり	
【授業づくりの3つのステップ】				
① 実態を把握し、 身に付けさせたい力を 明確にする。 単元をデザインする。	➡	② 本時の主眼を明確にし、 評価規準、まとめ、めあて を考える。	➡	③ 本時の導入、展開、 終末の手立てを 考える。

<ステップ2 授業の内容を決めよう!>

<主眼> ・地図や写真などから文明の特色を読み取り、 グループで話し合う活動を通して、文字・暦・ 数学などが発達した理由を考察し、表現しよう としている。	<評価規準と評価の方法> ワークシート なぜその地域で文明が起こったのか。 A:「大河(河川)」「農耕」「権力者(王)」「国家」の語句を用いて説明できている。 B:上記の一つ~三つの語句を用いて説明できている。 C:語句を用いて説明できていない。
<めあて> 世界のどこで、どのような特色をもった文明が 発達したのか理由を考えて、説明しよう。	<まとめ> 大河のほとりで農耕や牧畜が発達し、貧富の差が生まれ、権 力者(王)を中心とした国家がつくられた。文明の発展のため、 文字、暦、数学などが使用されていた。

<ステップ3 授業の方法を決めよう！>

	主な学習活動・内容	主な手立て
【導入】	<p>1. 「もしも文字や暦がなかったら？」という問い合わせについて考え、文明とは何かや重要性を理解する。(7分)</p>	<p>○文明とは何かや重要性を理解させるために、文字や暦がなかったら、私たちの生活はどうなっているかを考えさせる。その際、展開につなげるために前時に学習した農耕に着目させ「エジプトはナイルの賜物」の意味について考えさせる。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">世界のどこで、どのような特色をもった文明が起こったのだろう。</p>
【展開】	<p>2. 教科書P 22, 23③の地図から、どのような地域で文明が起こったか、地理的条件を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) グループで話し合う。(5分) (2) 全体で共有する。(5分) <ul style="list-style-type: none"> ・大河のほとり ・北緯20度～40度 ・低地 ・温帯や乾燥帯の地域 <p>3. なぜ大河のほとりで文明が発生したのか考える。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) グループで話し合う。(5分) (2) 全体で共有する。(5分) <ul style="list-style-type: none"> ・気温も適温で水があるので、農耕ができるから。 ・肥沃な土が流れてくるから。 ・物を運ぶことができるから。 <p>4. 教科書P 22, 23の資料から、各文明の共通点を見つけ出す。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字 ・権力者（王） ・道具 ・建築物（数学） ・暦 	<p>○文明が起こった地域の地理的条件の共通点を読み取らせるために、グループ学習を行い、話し合わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文明の位置を把握させるため、地図中の文明の場所を色ペンで印をつけさせる。 ・話し合いを円滑にするために4人グループにする。 ・既習事項である緯度や気候帯に着目させる。 <p>○大河のほとりに文明が発生する理由をつかませるために、補助発問を行う。</p> <p>「川の役割は何だろう。流れるだけなのかな。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えを深めるために、4人グループにする。 <p>○川の氾濫によって、肥沃な土地を得たことをつかませるために、「エジプトはナイルの賜物」の意味を説明する。</p> <p>○各文明の特色をとらえるために、教科書P 22, 23の資料を用いて共通点を見つけ出させる。</p> <p>補助発問：「人が集まると、どのようなことが必要となるだろう。」</p>
【終末】	<p>5. ワークシートにまとめを書く。(5分)</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">大河のほとりで農耕や牧畜が発達し、貧富の差が生まれ、権力者（王）を中心とした国家がつくられた。文明の発展のため、文字、暦、数学などが使用されていた。</p> <p>6. 次時でする中国文明の特色の予想を立てる。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農耕が行われていた (大河のほとりで川の氾濫を利用) ・広大で平らな土地 ・権力者（王）がいた ・くにができた ・文字が発達した ・道具が発達した ・大きな建造物がある 	<p>○本時の内容を整理するために、ワークシートを用いて、めあてに対するまとめを行わせる。</p> <p>○本時の内容を深めるために、次時で学習する中国文明はどのように発達したのか予想を立てさせる。</p>